

# 週間漁海況情報 2024年第10号

令和6年3月5日発行

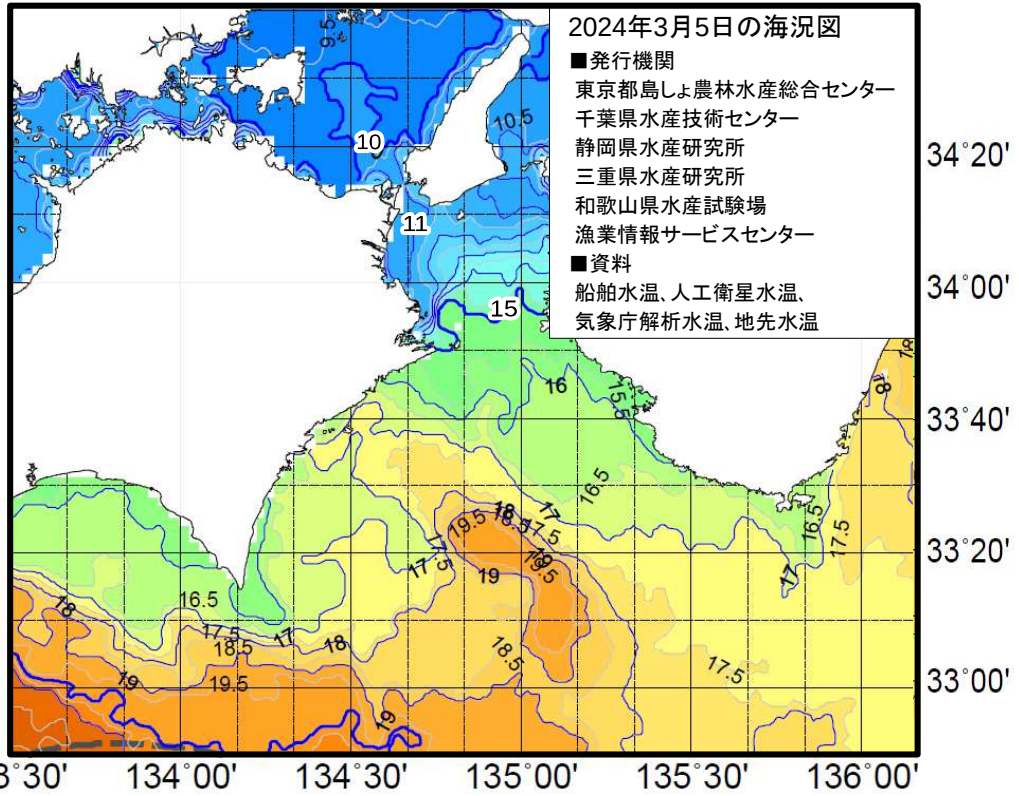
徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課海洋生産技術担当

## 海況

### 1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖38マイル付近、潮岬沖98マイル付近を流れ、室戸で「やや離岸」。潮岬で「著しく離岸」している。今後、黒潮は四国沖から離れると予測されている。冷たい内海水は海部沿岸沿いを南下しており、浅川の定置水温は1℃以上低下した。

黒潮の表面水温は20～21℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘は9～10℃、紀伊水道は10～15℃、海部沿岸は15～17℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～  
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。

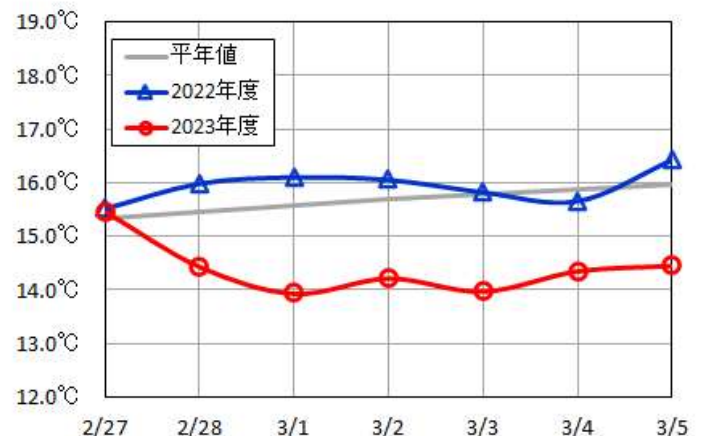
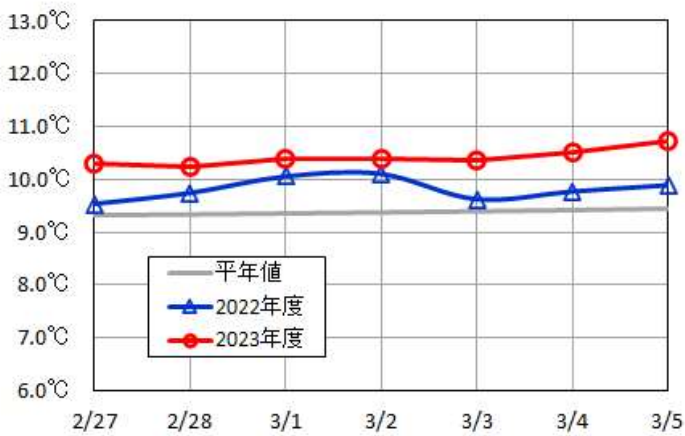
直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

### 2. 地先水温(2月28日～3月5日)

鳴門地区の水温は、10.2～10.7℃で「やや高め」、浅川地区は、13.9～14.4℃で「平年並み」から「やや低め」、「低め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は3.5～4.2℃で、先週と比べて大幅に狭まった。

鳴門地区

浅川地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満，やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満  
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満，かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

### 3. 週間予報(3月6日～3月12日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「著しく離岸」して推移する見込み。  
地先水温は、鳴門地区は「やや高め」、浅川地区は「低め」で推移する見込み。

**漁況** (2月26日～3月3日)

1. 紀伊水道 (標本漁協: 5)

建網では、メジナが増えて0.3ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが増えて豆アジ主体に0.7ト水揚げされた。

底びき網では、コウイカが増えて大主体に1.6ト、えそ類が大きく増えて0.8ト、ヒラメが大きく増えて0.3ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協: 4)

釣りでは、タチウオが大きく増えて0.7ト、ビンナガが大きく増えて0.3ト水揚げされた。

建網では、ブリが大きく増えて大主体に0.4ト水揚げされた。

小型定置網では、カタクチイワシが大きく増えて1.3ト、ブリが大きく増えて0.3ト、メジナが大きく減って0.3ト水揚げされた。

大型定置網では、ブリが減って大主体に9.6ト、マルアジが大きく増えて小小主体に5.2ト、メアジが増えて0.8ト、ウスバハギが大きく増えて大主体に0.5ト、マアジが小アジ主体に0.5ト、イサキが大きく増えて0.3ト、マダイが大きく増えて0.2ト水揚げされた。

**漁獲量集計表 (漁獲量が 0.20トン以上のものを抜粋)**

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり (kg)	銘柄	前週比 <sup>※</sup>
紀伊水道	建網	19	メジナ	268	14		↗
	小型定置網	13	マアジ	727	56	豆アジ主体	↗
	底びき網	22	コウイカ	1,634	74	大主体	↗
		21	えそ類	762	36		↗↗
		20	ヒラメ	271	14		↗↗
海部沿岸	釣り	12	タチウオ	735	61		↗↗
		5	ビンナガ	269	54		↗↗
	建網	5	ブリ	440	88	大主体	↗↗
	小型定置網	9	カタクチイワシ	1,268	141		↗↗
		14	ブリ	313	22		↗↗
		20	メジナ	255	13		↘↘
	大型定置網	5	ブリ	9,601	1,920	大主体	↘
		5	マルアジ	5,157	1,031	小小主体	↗↗
		4	メアジ	763	191		↗
		5	ウスバハギ	519	104	大主体	↗↗
		4	マアジ	456	114	小アジ主体	→
		5	イサキ	318	64		↗↗
		5	マダイ	204	41		↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘